

地域密着型金融推進計画（平成26年度）

当金庫では「地域密着型金融推進計画」として、コンサルティング機能を発揮した中小企業者や個人のお客さまの金融の円滑化、地域の面的再生への積極的な参画、地域の皆さまへの積極的な情報発信、皆さまからのご意見の収集等に取り組んでいます。

これらを実践していくために、本部と各営業店が一体で情報の共有化を図るとともに、お客さまの立場にたった適切な経営相談や経営支援等のため、役職員の知識向上に向けた研修会等を充実させています。そのうえでお客さまの声を可能な限り反映し、利便性等の向上に取り組み、問柄重視の地域密着型金融の一層の推進を図ってまいります。計画の詳細につきましては、下記の計画内容等をご確認ください。

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		26年度上期実績	
<p>1.事業者であるお客さまに対するコンサルティング機能の発揮として、ライフステージ別に取り組む。</p> <p>(1) 創業・新事業開拓を目指す顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信金中金、群馬県産業支援機構の活用及び日本政策金融公庫、商工組合中央金庫等との連携強化 ・制度融資の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中金の創業支援サポートの活用による創業支援の強化やベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化による顧客基盤の拡充を図っていく。 ・制度融資を積極的に活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援の強化を図る取組みとして、5月20日に信金中金の創業支援サポートについて、関連部署である営業推進一部・融資部・経営支援室と信金中金担当者にて勉強会・意見交換会を実施しました。また、7月11日には群馬県産業支援機構より講師を招き、同機構内に新たに設置された「よろず支援拠点」についての庫内研修会を実施し、ベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化による顧客基盤の拡充等態勢整備を図っています。 ・平成26年度上期の取扱実績は4件15百万円となりました。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		26年度上期実績	
<ul style="list-style-type: none"> 異業種交流の研修会への積極的参加 海外進出など新たな事業展開に向けての情報の提供等 外部機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> しんきん会会員を含め異業種交流研修会の参加への企画立案を積極的に図っていく。 信金中金との連携を強化して海外での事業展開や海外への販路拡大についての情報の提供等を行っていく。 引き続き群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等によりきめ細かにお客さまへのバックアップを行っていく。 農業分野について外部機関との連携を図り、その知見を活用しつつ、より適切なアドバイスができる態勢としていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、11月に初開催される全国信用金庫合同によるビジネスフェア「信金発！地域発見フェア」への見学会を、しんきん会会員を中心に実施する予定です。 信金中金と連携することにより海外進出支援の態勢を整え取り組んでいます。 群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等を行っています。当金庫では、14名のサポーターによる中小企業者の方へのきめ細かな対応やコンサルティング機能の発揮に努め、中小企業者への経営支援等を行っています。 群馬県農業信用基金協会や日本政策金融公庫の保証により取扱っています。平成26年度上期は各々1件ずつ取扱い、380万円と300万円の実行となっています。また、8月9日には日本政策金融公庫より講師を招き、農業関連についての勉強会を実施しました。 	
<p>(3) 経営改善が必要な顧客企業等</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営改善が必要な企業に対する取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 経営目標の実現や経営課題の解決に向け、経営者が主体的に取組むための支援として、本部・営業店が連携して経営改善 	<ul style="list-style-type: none"> 金融円滑化法の期限到来後においても、経営改善が必要な顧客企業に対しては、顧客企業の経営目 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		26年度上期実績	
	<p>計画書の策定・再策定支援を地道かつ積極的に取組む。</p> <p>・経営改善支援の一環として、貸出条件変更が必要な場合は、お客さまの状況をきめ細かく把握したうえで条件緩和に積極的に取組む。</p> <p>・企業の業況を把握し、継続したモニタリングを行いながら、営業店と本部（融資部・経営支援室）が一体となり積極的な経営支援を行う。</p> <p>・経営支援により債務者区分のランクアップを図るとともにランクダウンの防止を図る。</p>	<p>標の実現や経営課題の解決のための支援として、本部・営業店との連携や群馬県中小企業再生支援協議会等の外部機関も活用し、経営改善計画書の策定・再策定支援に積極的に取組んでいます。また、「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」に基づき、経営革新等支援機関に認定されています。</p> <p>・経営改善支援の一環として、貸出条件変更が必要な先について、経営改善計画書策定支援も積極的に行い、実態に合った返済計画への変更を行っています。実績として条件変更債権は平成26年度上期は537口 6,553百万円の取扱いでした。</p> <p>・定期的なモニタリングの実施により、コンサルティング機能を更に発揮し、顧客企業の経営改善に向けたソリューションの提言や営業店を臨店して担当者のスキルアップを図る指導を行い、営業店担当者とともに顧客企業の経営改善のための経営支援（15先）に取り組んでいます。</p> <p>・顧客企業を訪問して実態把握や業況の変化を見落とさないように努めるとともに経営者からの本音を聞き出し、現状直面している問題点を一つ一つ解決することで、債務者区分のランクアップやラ</p>	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		26年度上期実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・大口の設備資金融資先企業等への期中管理の強化 <p>(4) 事業再生や業種転換が必要な顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業再生の早期着手に向けた取組の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県中小企業再生支援協議会や群馬県中小企業診断士協会等の外部機関と連携を強化する。また、関係する金融機関とも連携を図り、経営支援を行う。 ・大口の設備資金融資先企業、経営改善計画策定先等については、融資部と経営支援室・資産査定委員会で情報を共有する。計画の進捗状況をお客さまとのヒアリング等により把握し、計画を達成していくため支援を行っていく。 ・抜本的な事業再生や業種転換により、経営の改善が見込まれる企業に対しては、経営再建計画の策定支援を行う。 ・貸付の条件変更等を行うほか、群馬県中小企業再生支援協議会等連携先を活用する。また、取引状況等に応じ第二会社方 	<p>ンクダウンの未然防止を図っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度上期において、中小企業再生支援協議会と連携している先は4先あり、また、中小企業診断士協会との連携により支援している先は1先となっています。 ・大口の設備資金融資先企業、経営改善計画策定先等は、中小企業診断士協会、税理士、経営相談員等からの助言・提言の活用（第三者の知見の活用）もあることから、当金庫でも関係部門で情報を共有し、顧客企業の経営改善に向けて取組みの強化を図っています。 ・抜本的な事業再生や業種転換により、経営の改善が見込まれる企業に対しては、当金庫で抜本的な経営改善計画書の策定支援を行うほか、群馬県中小企業再生支援協議会及び中小企業診断士協会等の外部機関とも連携を図り、事業再生のための経営再建計画の策定支援を行っています。 ・抜本的な事業再生により、経営改善が見込まれる顧客企業には、群馬県中小企業再生支援協議会と 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		26年度上期実績	
<p>(5) 事業の持続可能性が見込まれない顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の持続可能性の見極め 	<p>式での事業再生やDDS・DES等も検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に向けた経営者の意欲、経営者の生活再建、当該企業の取引先等への影響など、事業の持続可能性を慎重かつ十分に検討をする。 	<p>連携して取組んでおり、平成26年度で同協議会と連携して取組んでいる先の4先のうち、2先が第二会社方式及びDESを念頭において対応し、DESの対応先については、事業再生計画の成立に伴うDDSの実行（平成25年度）に続き、DESの実行も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続可能性の見極めについては、事業計画に向けた経営者の意欲、また、経営者の生活再建や当該企業の取引先等への影響などを考慮し、慎重かつ十分な検討を行っています。 	
<p>(6) 事業承継が必要な顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継を企業の第6のライフステージとして位置付けた取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる事業承継のニーズに対応したサービスを行うため事業引継ぎ支援センター（群馬県産業支援機構内）等との業務提携により、事業承継ニーズのあるお客さまを紹介するなど、積極的に取組んでいく。また、引き続き(株)朝日信託との連携を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者の有無や事業継続に対する経営者の意向を踏まえて、事業引継ぎ支援センター等との業務提携により適切なソリューションの提言をできる態勢を整えています。また、事業承継についての外部研修についても12月に職員を派遣する予定としています。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業譲渡・譲受の積極的な相談業務の取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・しんきんキャピタル(株)等を活用して、ビジネスマッチング・事業承継等の支援を行っていく。(M&A含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所開拓専担チーム等では代表者が高齢であり、後継者がいない先に対して事業承継等の説明・提案を行いました。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		26年度上期実績	
<p>(7) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種制度融資の積極的活用 	<ul style="list-style-type: none"> 担保・保証に過度に依存しない、キャッシュフローを重視した融資を推進していく。 県制度資金の小規模企業事業資金、群馬県経営サポート資金を積極的に活用していく。 市町村小口資金を積極的に活用していく。 コンサルティング機能を発揮し、中小企業に対する円滑な資金供給に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> キャッシュフローを重視した審査態勢の強化については、本年度事業計画にも明確に掲げています。融資審査において、返済キャッシュフローを算出し、有利子負債償還年数等を考慮して審査を行っています。 平成26年度上期実績 小規模企業事業資金 43先、154百万円 群馬県経営サポート資金 8先、74百万円 平成26年度上期実績 市町村小口資金 40先、227百万円 コンサルティング機能を発揮し、平成26年度は条件変更先に対する新規融資実行を、197件、1,712百万円行いました。 	
<ul style="list-style-type: none"> 「経営者保証に関するガイドライン」に則った融資慣行の確立 <p>(8) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> チェックリストを活用し、保証の必要性の有無を判断するとともにお客さまへ十分説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業資金の申込にあたっては、すべてチェックリストを使用し、経営者保証の要否を判断し説明し、たうえで対応しています。 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 6 年 度 上 期 実 績	
み ・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・目利き力向上等のための業界団体が行う研修への参加と研修受講者による金庫内研修の実施。 ・通信講座の受講、検定試験合格による資格取得を積極的に推進する。特にファイナンシャルプランナー及び年金アドバイザー、医療経営アドバイザー、相続診断士などの資格取得により相談業務の充実を図る。 ・対話力、折衝力強化のため毎月2回（4月、10月は除く）の自主勉強会の実施（現場力の強化、職員のレベルアップ）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修へ28名派遣し、研修内容を毎月2回土曜日に実施している自主勉強会時に受講者を講師として他の職員に還元しています。 ・ファイナンシャルプランナー2級取得者 47名 医療経営アドバイザー取得者 1名 相続診断士取得者 1名 通信講座受講者 26名 履修研修受講者 141名 ・毎月2回自主勉強会実施（4月、10月は除く） 平成26年9月末 10回開催してお客様との対話力、折衝力強化を図っています。 ・5月16日に信金中央金庫の専門職員による「医療・介護業界の動向と堅調経営を続ける介護事業者」に関する勉強会を行い、医療・介護関連の知識を高めました。 	
2.地域の面的再生への積極的な参画 (1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・渋川市商店街の活性化及び個々の店の販売促進、併せて消費の拡大を図るため渋川商工会議所から発行されるプレミアム商品券への協賛（商品券の換金事務）、販売時の職員派遣を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度も、渋川商工会議所から発行されるプレミアム商品券に協賛しています。6月29日の販売時には職員を6名派遣しました。換金は当金庫本店営業部、伊香保支店、子持支店、渋川南支店の4店舗で行っています。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		26年度上期実績	
<p>(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士による税務相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体への融資スタンスとして、金額、期間等を勘案し積極的に対応する。 ・地球環境に配慮したハイブリッド車、電気、天然ガス自動車、第3のエコカーの購入資金については通常金利より優遇して利用者拡大に取り組む。また、ぐーちょきパスポート、交通安全協会会員証のいずれかを提示した場合はさらに優遇する対応を継続する。 ・ソーラーパネルなど太陽光発電・自然エネルギーによる発電設備を行うための資金について通常金利より優遇するなど普及に努める。 ・渋川広域ものづくり協議会との連携を図る。 ・毎週木曜日に本店で実施している税理士による無料税務相談を継続して実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の起債入札に積極的に参加しました。他行の低金利攻勢等もあり3件1,414百万円の実績となりました。 ・積極的に顧客に紹介し利用推進を図っています。26年度上期実績として67件125百万円の実行となりました。 ・ソーラーパネルなど太陽光発電・自然エネルギーによる発電施設設備を行うための「きたしんリフォームプラン」を用意し、優遇金利を設けています。26年度上期実績 きたしんリフォームプラン 17件49百万円 太陽光発電融資 32件1,678百万円 ・渋川広域ものづくり協議会の活動等に引き続き協賛してまいります。 ・26年度上期中の相談内容は、贈与税13件、相続税10件、法人税9件、所得税8件、譲渡7件、印紙 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		26年度上期実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険労務士による年金相談会 ・金庫職員等による金融知識の普及 ・交通安全指導の実施 ・町内道路清掃活動への参加 ・地方公共団体等によるイベントや地元の祭典への積極参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険労務士による年金相談会を実施していく。 ・金庫営業地域の小学生を対象にした金融知識の普及のための講話を行っていく。 ・登校時間に通学路の横断歩道に立ち、旗による誘導をし、子供たちの交通安全に寄与していく。 ・休日町内一斉に実施される道路清掃活動に積極的に参加する。 ・地方公共団体や中小企業団体等の地域的・広域的なイベントや渋川市の“へそ祭り”をはじめ各営業店所在地の祭典等に積極的に参加していく。 	<p>税3件、他13件、合計63件でした。また、この一環として税理士によるセミナーも開催しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、本店営業部で3回と渋川南支店で3回の計6回開催しました。 ・外部機関より講師を招き、金庫地域の小学校にて金融知識の普及のための講話を行う予定です。 ・市内4ヶ所にて継続的に実施しています。幸い横断旗誘導付近での交通事故は発生しておらず、地域の父兄や小中学校からは感謝されています。 ・多くの職員を参加させるなど地域の道路周辺美化に貢献しています。 ・「渋川へそ祭り」など、一企業として参加する祭典では、地域住民の方々からは、そろいのゆかたや法被が定評となっており、当金庫の参加を期待されています。また、4月20日に開催された「前橋・渋川シティマラソン」にボランティアスタッフとして参加したほか、11月3日に開催予定の「群馬県民マラソン」にボランティアスタッフとして参加する予定です。 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		26年度上期実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業店の高齢者等対応店舗への改装 ・ 認知症サポーターによる支援充実 ・ がん検診普及のピンクリボン運動の実施。 <p>3.お客さまや地域の皆さまへの積極的な情報発信・意見の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み等に関して、地域の皆さまに積極的に情報発信 ・ お客さまのご意見の反映等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者等の利便性向上を図るため、スロープやバリアフリー等の対応を検討していく。 ・ 役職員が修得した認知症サポーターとしての知識を実践していくことによりお客さま支援及び満足度の向上に継続的に取り組む。 ・ がん検診の普及を目的としてピンクリボン運動の実施を継続していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて積極的に発信していく。 ・ 各営業店で日々の活動から得ることのできるお客さまの要望等を本部、営業店で共通の情報として把握することにより適切でニーズに合った提案を行う。 ・ 頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者等の利便性向上を図るため、スロープ等の対応を図っています。 ・ 「全役職員が認知症サポーター」という体制で、お客様支援及び満足度の向上のため、各営業店において認知症サポーターとしての知識を実践しています。 ・ 女性職員全員でピンクリボンバッヂを制服に着けて、がん検診等の受診率向上に努めています。 ・ 地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて積極的に情報発信しています。 ・ 営業店と本部をつなぐネットワークシステム上の情報掲示板やインフォメーションにて全職員が情報を共有しております。 ・ 頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていただきます。 	

